

キャリア教育

小中連携、中高一貫教育校等様々な理念や学校が出現している。

よく、「～はどのような考え方ですか？」や「～って何なの？」という問いがある。一番嫌いな質問である。「キャリア」もその 1 つで、何となく頭の中にはあるのだが、根拠に基づき答えることができない。日々この状態である。

筑波大学 藤田晃之 教授の講義（平成 25 年度カリキュラム・マネジメント指導者養成研修）を聞くことができたので、その要旨をまとめた。

（以下要旨）

1 学習指導要領との関わり

・平成 20 年 1 月 中教審答申 学習指導要領改訂の基本的な考え方

- ① 「生きる力」という理念の共有
- ② 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- ③ 思考力・判断力・表現力等の育成
- ④ 確かな学力を確保するために必要な授業数の確保
- ⑤ **学習意欲の向上や学習習慣の確立**
- ⑥ 豊かな心や健やかな体の育成のための指導と充実

調査等から、向上しない、確立しないことがわかった。

「こんな勉強やっても意味ないよ」（今の学びと将来がつながっていない）

「君たちのやっていることの積み重ねが将来の自分に役立ち、社会にも役立つよ」
伝えること ← ここがキャリア教育に大切なポイント

2 国際調査から

- ・TIMSS 数学と理科…やっても意味ねえよ、数理を生かす仕事興味ないよ
- ・PISA2012 学力世界 1 位、しかしやっても意味ねえよ

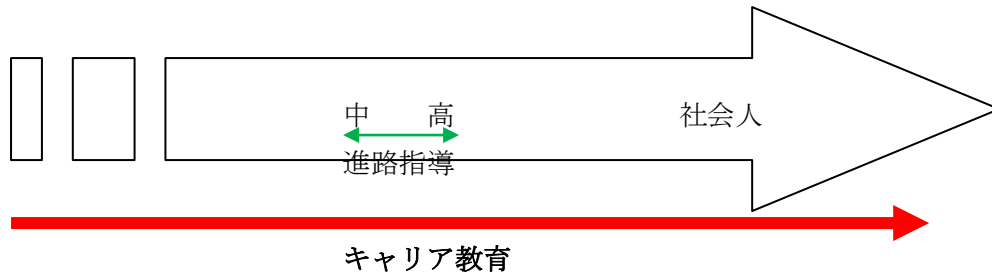
主体的に学ぶ態度が低い（活用以上に）

※学力状況調査から、夢を考えさせる取り組みをした学校は強い

3 キャリア教育とは何か

一人前として社会でやっていくのに必要な力をつける (生き方そのもの)

職業人としてだけでなく、社会人・納税者としても



・育てたい力

人間形成

自己理解

キャリア教育を通して育てる
基礎的・汎用的能力

課題適応

キャリアプランニング



しかし、地域・学校の特色に応じた力を育成することも可